

安全講習会レポ

飯島 八重子

例年になく暑さの5月18日、彩りの森にて安全講習会が行われました。朝の朝礼での呼びかけもあり、女性7名を含め総勢26名の参加者がありました。

9時40分に参加者が集まる中、パトロールの小島さんや本日指導して下さる農協の廣田さんから講習会の挨拶があり、まず草刈り機の使用に際する注意点から、特に一番重視する事は安全に使用するという事でした。



J A講師による、安全について注意説明
廣田さんからは以下の説明がありました。

- ① 怪我をしないようにする。
- ② 人に怪我をさせないようにする。
- ③ 作業前の機械の点検をする（他の人が使用した後でも安全とは限らないので必ず自ら点検する。）
- ④ 安全な服装で作業する。（エプロンやゴーグルは目の保護に必要、安全バンドは必ず付ける事）。

また実際に一番多い事故としては草刈り機の音で危険を知らせる周りの声が聞こえない為の怪我や、作業近くに寄りすぎ飛来物に当たったり、機械に当たったりして身体的損傷を受けたりする事故の具体例を挙げて、そういう事故を防ぐ為にも、活動時の合図や約束等を取り決めておいてから、作業に取り掛かった方がよい等のアドバイスもしていただきました。

次に作業時の動き方についても実演され、

平地や坂道での動作一つでも事故に繋がる事がある等、参加者は廣田さんの説明一つずつにうなずきながら真剣に聞かれました。

一通りの説明が終わり、次に草刈り機を使つての草刈り体験をすることに。まず4班に分かれ、それぞれエプロン、フェイスガード、ゴーグルなどの安全装備を身に付け、グループごと一人ずつが実際に草刈り機を使つての草刈り作業に取り組みました。

また10時15分頃よりスパイダーモアやモアという名の草刈り機の説明も行われ、それぞれの草刈り機の特徴などの話を聞きながら熱心にメモを取ったり、操作方法を聞く参加者の姿もあり、実際の草刈り機体験をされていました。



自走式草刈り機（モア）の取り扱い注意



運転の実習指導

ここで参加者の方の声を記載させていただくと、「こういう講習会で体験する事はやはり必要ですね」という声や「普段使い慣れていない草刈り機なので、機械のスイッチ等、実写真を使った取り扱い説明書をそれぞれに付けておいてくれたら、たまに使う者にとっては有難いんやけど・・・」などの声がありました。

何度も練習する人や機械を色々変えて動かしている人など、講習会は熱気にあふれて10時45分事故もなく無事終了しました。

今回の講習会は一に安全、二に安全に作業するという観点からも良い講習会内容でした。